

## マンホール工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
組立マンホール工					
組立1号マンホール					
組立マンホール設置工	1号マンホール 深さ3m以下	別紙計算書より 2	2	2	箇所
底部工(組立式)	1号マンホール インパートのみ No. 104, No. 105	別紙計算書より 2	2	2	箇所
鉄筋コンクリート組立1号マンホール I 種	底版 H=130	別紙計算書より 2	2	2	個
鉄筋コンクリート組立1号マンホール I 種	管取付け壁 900×900	別紙計算書より 1	1	1	個
	管取付け壁 900×1800	別紙計算書より 1	1	1	個
	直壁 900×600	別紙計算書より 1	1	1	個
	斜壁 600×900×450	別紙計算書より 2	2	2	個
調整リング φ 600	H= 50	別紙計算書より 2	2	2	個
	H=100	別紙計算書より 2	2	2	個
鉄筋コンクリート製組立マンホール調整金具	調整高25mmまで	別紙計算書より 2	2	2	組
人孔鉄蓋(デザイン)	φ 600 T-25	別紙計算書より 2	2	2	組
マンホール削孔費 1号(I 種)	塩ビ管用 径200用	別紙計算書より 2	2	2	箇所
人孔用可とう継手	VU φ 200	別紙計算書より 4	4	4	個

# 取付管およびます工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算 出 数 量	設 計 数 量	単 位
管路土工					
管路掘削					
機械掘削工 (バックホウ)	0.2BH	別紙計算書より 12.1	12.1	10	m3
管路埋戻					
機械投入埋戻工 (バックホウ)		5.3+2.6	7.9	8	m3
改良土 (20mm以下)	DID無 L=5.0km以下	別紙計算書より 5.3	5.3	5	m3
改良土 (75mm以下)	DID無 L=5.0km以下	別紙計算書より 2.6	2.6	3	m3
発生土処理					
発生土運搬・処理	DID無 L=4.5km以下	(5.3+2.6)/0.9	8.8	9	m3
発生土運搬・処分	掘削量	12.1	12.1		
	砂基礎、埋戻し 改良土として利用	5.3+2.6	7.9		
	DID有 L=9.0km以下 差引	12.1-(7.9/0.9)	3.3	3	m3

# 取付管およびます工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
ます設置工					
ます					
ます設置工 (塩化ビニル製)	φ 200 5箇所未満	別紙計算書より 4	4	4	箇所
掃除口保護鉄蓋(デザイン)	φ 200用 T-14 台座付	別紙計算書より 4	4	4	組
取付管					
取付管布設および支管取付工	φ 150 5箇所未満	別紙計算書より 4	4	4	箇所
埋設標識シート	7mm製ダブル折込、幅150mm	別紙計算書より 16.50	16.5	17	m
鋼製さや管	φ 250	別紙計算書より 1.60+1.60+1.40	4.6	5	m

## 取付管およびます工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
取付管(推進)(圧入式)					
特殊支管	φ 150	別紙計算書より 3	3	3	個
特殊接合剤		別紙計算書より 1.35	1.4	1.4	kg
硬質ポリ塩化ビニル管	一般管VP 径150	7.70/4.0	1.9	2	本
取付管推進工(圧入式)	取付管 φ 150 さや管 φ 250 粘性土N≤10	別紙計算書より 7.70	7.7	8	m
コア抜き工及び支管取付	本管 φ 200 取付管 φ 150	別紙計算書より 3	3	3	箇所
塩ビ管挿入工	取付管 φ 150	別紙計算書より 7.70	7.7	8	m
中詰注入工	取付管 φ 150 さや管 φ 250	$((0.25^2 \pi / 4) - (0.15^2 \pi / 4)) * 7.70$	0.24	0.2	m <sup>3</sup>
推進用鋼製さや管撤去工	さや管 φ 250管 φ 250	別紙計算書より 7.70	7.7	8	m
仮設備工	推進設備工(地上設置) 撤去含む	別紙計算書より 1	1	1	箇所
	推進設備移設工(地上設置) 撤去含む	別紙計算書より 2	2	2	回
塩ビ管挿入工	中詰注入設備工	別紙計算書より 1	1	1	箇所
	中詰注入設備移設工	別紙計算書より 2	2	2	回

## 付帯工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
舗装撤去工					
舗装版切断					
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=15cm以下	別紙計算より 立坑35.50+取付管52.40	87.9	88	m
舗装版破碎					
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t=15cm以下	別紙計算より 立坑33.64+取付管28.71	62.4	62	m <sup>2</sup>
般運搬処理					
般運搬	DID無 L=2.0km以下	別紙計算より 立坑1.68+取付管1.43	3.1	3	m <sup>3</sup>
廢材処理費	アスファルト舗装廢材	別紙計算より 立坑3.95+取付管3.37	7.3	7	t

## 付帯工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
道路復旧工					
下層路盤					
下層路盤(歩道部)	ARC-40 (RC混合) t=200mm	別紙計算書より 立坑6.25+取付管9.81	16.1	16	m <sup>2</sup>
上層路盤					
上層路盤(歩道部)	M-40 t=120mm	別紙計算書より 立坑6.25+取付管9.81	16.1	16	m <sup>2</sup>
表層					
表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満 ②粗粒度アスコン(20), t=50mm	別紙計算書より 立坑6.25+取付管9.81	16.1	16	m <sup>2</sup>
	平均幅員3.0m超 ⑤密粒度アスコン(新20FH), t=50mm	別紙計算書より 立坑27.39+取付管18.90	46.3	46	m <sup>2</sup>
溶融式区画線					
区画線設置	溶融式手動, 実線, 15cm, 白 外側線	8.30+2.80	11.1	11	m
	溶融式手動, 破線, 15cm, 白 中央線	4.15+1.40	5.6	6	m

# 管きょ工(小口径推進)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
低耐力カガ一工程推進工					
推進用硬質塩化ビニル管(低耐力カガ)					
推進用硬質塩化ビニル管	No. 104→No. 101	29. 25	29. 25	29	m
	No. 104→No. 105	43. 25	43. 25	43	m
発生土処理					
発生土運搬・処分	No. 104→No. 101	29. 25*0. 194`2*PI/4	0. 86		
	No. 104→No. 105	43. 25*0. 194`2*PI/4	1. 28		
	計	0. 86+1. 28	2. 1	2	m <sup>3</sup>

管きょ工(小口径推進)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
立坑内管布設工					
硬質塩化ビニル管	φ 200mm				
推進用塩ビ管VP (SSPS) ｽﾍﾞｲﾙ布設工	No. 101	0. 30	0. 3		
	No. 104	0. 55++0. 55	1. 1		
	No. 105	0. 30	0. 3		
	計	0. 3+1. 1+0. 3	1. 7	2	m

# 管きょ工(小口径推進)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
仮設備工(小口径)					
坑口(小口径)					
坑口工(小口径)	φ 200, 低耐力ホーガ No. 101, No. 104*2, No. 105	1+2+1	4	4	箇所
鏡切り					
鏡切り工	小型立坑(鋼製ケーシング)	4箇所*1.2m	4.8	5	m
推進設備等設置撤去					
推進設備工	設置 No. 104	1	1	1	箇所
	据換 No. 104	1	1	1	箇所
先導体据付撤去工	分割回収 No. 101, No. 105	2	2	2	箇所

管きよ工(小口径推進) 873数量総括表.xlsm

## 立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
管路土工					
管路埋戻					
砂基礎工	管床・管周・管頂	4.56+1.13+0.48+0.46	6.6	7	m3
改良土（20mm以下）	DID無 L=5.0km以下	上記と同じ 6.6	6.6	7	m3
機械投入埋戻工（ハツツ材）		0.92+0.35	1.3	1	m3
改良土（75mm以下）	DID無 L=5.0km以下	上記と同じ 1.3	1.3	1	m3
発生土処理					
発生土運搬・処理	DID無 L=4.5km以下	(6.6+1.3)/0.9	8.8	9	m3
発生土運搬・処分	掘削量	14.89+5.65	20.5		
	砂基礎、埋戻し 改良土として利用	6.6+1.3	7.9		
	DID有 9.0km以下 差引	20.5-(7.9/0.9)	11.7	10	m3

## 立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算 出 数 量	設 計 数 量	単 位
鋼製ケーシング式土留工及び土工					
鋼製ケーシング 圧入掘削					
圧入掘削積込み工	φ 1500, 粘性土N≤5 No. 105	2. 707-舗装厚0. 05	2. 66	3	m
	φ 2000, 粘性土N≤5 No. 104	4. 292-舗装厚0. 05	4. 24	4	m
ケーシング溶接工	φ 1500 No. 105	1	1	1	箇所
	φ 2000 No. 104	1	1	1	箇所
ケーシング引上げ工	φ 1500 No. 105	1	1	1	箇所
	φ 2000 No. 104	1	1	1	箇所
ケーシング撤去工	φ 1500 No. 105	1	1	1	箇所
	1箇所当り切断長 φ 2000 No. 104	4. 7m+(1. 45m*4分割)	10. 5		
	1箇所当り切断長	6. 3m+(1. 45m*4分割)	12. 1		

## 立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算 出 数量	設計 数量	単位
矢板・銅管スクラップ 控除	φ 1500 No. 105	1.45m*0.467 t	0.7		
	φ 2000 No. 104	1.45m*0.615 t	0.9		
	計	0.7+0.9	1.60	1.6	t
底盤コンクリート					
底盤コンクリート打設工	(30)-15-40 (高炉) W/C≤55%	1.80+3.10	4.9	5	m3
うわ水排水工	No. 104, No. 105	1+1	2	2	箇所
スライム処理工	No. 104, No. 105	1+1	2	2	箇所
泥水運搬処分費	φ 1500 No. 105	0.7	0.7		
	φ 2000 No. 104	1.2	1.2		
	計	0.7+1.2	1.9	2	m3

## 立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
圧入掘削設備					
機械設置撤去工	φ1500 No. 105	1	1	1	回
	φ2000 No. 104	1	1	1	回
鋼製ケーシング 存置					
鋼製ケーシング 存置	刃先, φ1500 No. 105	1	1	1	個
	刃先, φ2000 No. 104	1	1	1	個
	鋼製ケーシング, φ1500 No. 105	1.450+0.507	1.957	2.0	m
	鋼製ケーシング, φ2000 No. 104	1.450+2.092	3.542	3.5	m
仮設ケーシング 損料等					
仮設ケーシング	φ1500, L=2.0~2.5m No. 105	1	1	1	回
	φ2000, L=2.0~2.5m No. 104	1	1	1	回

## 立坑工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
路面覆工					
覆工鋼材質料等					
円形覆工板設置工	φ 1500 No. 105	1	1	1	箇所
	φ 2000 No. 104	1	1	1	箇所
円形覆工板撤去工	φ 1500 No. 105	1	1	1	箇所
	φ 2000 No. 104	1	1	1	箇所
円形覆工板賃料 (φ 1500)	φ 1500 No. 105	1月	1	1	月
	整備料	1枚	1	1	枚
円形覆工板賃料 (φ 2000)	φ 2000 No. 102, No. 103	2月	2	2	月
	整備料	1枚	1	1	枚
円形覆工板開閉工	φ 1500	1	1	1	回
	φ 2000	1+5+7+1	14	14	回

## 仮設工

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算 出 数 量	設 計 数 量	単 位
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	交通誘導員B 2人配置 起終点各1人(交代1人)	29.5日*(2人+交代1人)	88.5	88.5	人日
	No.104 (立坑)	1.05	1.05		
	No.105 (立坑)	0.69	0.69		
	No.104→No.101 推進工	11.98	11.98		
	No.104→No.105 推進工	9.89	9.89		
	取付推進工 ②, ③, ④	3.36	3.36		
	取付管開削工 ②, ③, ④, ⑤	1.00	1.00		
	舗装本復旧工～ 試験掘削工	1.36	1.36		
	計	1.05+0.69+11.98+9.89+3.36+1.00+1.36	29.3		

## 運搬費(積上げ)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算 出 数 量	設 計 数 量	単 位
仮設材運搬費					
仮設材の運搬(往路)	円形覆工板 φ 1500	0.73*1枚	0.73		
	円形覆工板 φ 2000	1.16*1枚	1.16		
	計	0.73+1.16	1.9	1.9	t
仮設材の運搬(復路)		往路と同じ	1.9	1.9	t
仮設材等の積込み取卸し費	積込み、取卸し(往復分)	運搬と同じ	1.9	1.9	t

## 事業損失防止施設費(積上げ)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
地下水観測費					
観測井	No.101	5.0+1.0	6.0		
	No.104	3.9+1.0	4.9		
	計	6.0+4.9	10.9	11	m
pH測定					
	1箇所当り採水回数 工事着手前	1回	1		
	1箇所当り採水回数 工事中	1回・日×1日・箇所	1		
	1箇所当り採水回数 工事終了後2週間まで	1回・週×2週間	2		
	1箇所当り採水回数 工事終了後2週間経過	2回・月×3ヶ月	6		
	1箇所当り採水回数 小計	1+1+2+6	10		
	採水回数計	10回×2箇所	20	20	回
	1箇所当り公的機関 工事着手前	1回	1		
	1箇所当り公的機関 工事中	1回	1		
	1箇所当り公的機関 工事終了後2週間まで	1回	1		

## 事業損失防止施設費(積上げ)

工種 種別 細別	規 格	計 算 式	算出 数量	設計 数量	単位
	1箇所当り公的機関 工事終了後2週間経過	1回・月×3ヶ月	3		
	1箇所当り公的機関 小計	1+1+1+3	6		
	現場採水持込試験計	6回×2箇所	12	12	回
	1箇所当り現場採水試験 工事着手前	採水回数1回-公的機関1回	0		
	1箇所当り現場採水試験 工事中	採水回数1回-公的機関1回	0		
	1箇所当り現場採水試験 工事終了後2週間まで	採水回数2回-公的機関1回	1		
	1箇所当り現場採水試験 工事終了後2週間経過	採水回数6回-公的機関3回	3		
	1箇所当り現場採水試験 小計	採水回数(1+1+2+6)回-公的機関(1+1+1+3)回	4		
	現場採水試験計	4回×2箇所	8	8	回
試験掘削費					
地下埋設物調査	No. 104, No. 105	2	2	2	箇所



### 1号マシンホール組合せ表

[illegible]

# 取付管推進工数量計算書(250-150)

設置場所		取付管材料										取付管推進工										備考
氏名	所在地	推進延長 (m)	特殊管 (個)	さや管 全損本数		マルクラウン 全損個数	特殊 接合剤 (kg)	塩 ビニル管 (m)	取付管 推進工 (m)	コア抜き工 (箇所)	塩ビ管 挿入工 (m)	中 詰入工 (m3)	さや管 撤去工 (m)	作業坑内設置		地上設置		中 詰 注 入 工				
				L=0.5m (本)	L=1.0m (本)									推進設 備工 (箇所)	移送工 (回)	推進設 備工 (箇所)	移送工 (回)	中詰注入 設備工	中詰注入 移送工	(回)		
②		3.17	1				0.45	3.17	3.17	1	3.17	0.10	3.17			1			1		垂直推進	
③		2.64	1				0.45	2.64	2.64	1	2.64	0.08	2.64				1			1	垂直推進	
④		1.89	1				0.45	1.89	1.89	1	1.89	0.06	1.89				1			1	垂直推進	
合 計		7.70	3				1.35	7.70	7.70	3	7.70	0.24	7.70			1	2		1		2	

汚水桝及び取付管布設工数量計算書

設置場所			掃 除 口 汚 水 樹				取 付 管				備 考	
氏 名	所在地	深さ	汚水樹径		保護鉄蓋・内蓋 T-14	備 考	タイプ*	取付 管長	土工控除 本管掘削幅 の1/2	土工長		(〈本管土被り+樹深〉/2)
			φ200	φ300								
②		1.2	1		1		B	5.30		5.30	1.20	さや管φ250、L=1.60m
③		1.0	1		1		B	2.10		2.10	1.00	
④		1.2	1		1		B	6.60		6.60	1.20	さや管φ250、L=1.60m
⑤		1.0	1		1		A	2.50		2.50	( 1.2 + 1.0 )/2= 1.10	さや管φ250、L=1.40m

取付管土工数量計算書

氏 名	掘削深 (舗装厚を除く) (m)	舗装厚 (m)	路盤厚 (m)	平均掘削幅 (m)	土工長 (m)	機械掘削 (m3)	埋戻(改良土)			矢板長 (m)	備 考
							20mm以下 管床・管周・管頂		75mm以下 L(m3)		
							K(m3)				
②	1.15	0.05	0.32	0.67	5.30	4.1	1.7	1.0			
③	0.95	0.05	0.32	0.65	2.10	1.3	0.7	0.1			
④	1.15	0.05	0.32	0.67	6.60	5.0	2.1	1.2			
⑤	1.05	0.05	0.32	0.66	2.50	1.7	0.8	0.3			
					16.50	12.1	5.3	2.6			



# 取付管路面復旧数量計算書

氏名	復 旧			復 旧			本 復 旧			舗装破砕 舗装破砕 ⑤+⑩ (m2)	舗装破砕 運 搬 (m3)	舗装破砕 (t)	備 考
	舗装厚 ①(m)	延長 ②(m)	幅(掘削幅) ③(m)	切断長 ④(m)	面積②×③ ⑤(m2)	舗装厚 ⑥(m)	延長 ⑦(m)	幅(影響含) ⑧(m)	切断長 ⑨(m)	面積②×③ ⑩(m2)			
②	0.05	4.20	0.78	8.40	3.28	0.05	6.50	1.40	13.00	9.10	0.62	1.46	外側線1.40m 中央線0.70m
③	0.05	1.60	0.74	3.20	1.18						0.06	0.14	本復旧は№.104にて計上
④	0.05	5.50	0.78	11.00	4.29	0.05	7.00	1.40	14.00	9.80	0.70	1.65	外側線1.40m 中央線0.70m
⑤	0.05	1.40	0.76	2.80	1.06						0.05	0.12	本復旧は№.105にて計上
		12.70	m	25.40	m2		13.50	m	27.00	m2	1.43	3.37	外側線2.80m 中央線1.40m

推進工集計表

項 目 立 坑	管底高	地盤高	マンホール種類	発進・到達	立抗長さ (m)		推 進 工				空伏せ工 管 布 設 延 長 (m)	削 孔		可とう継手		備考
					直径・矢板の芯	路線延長 (m)	推進延長 (m)	管長 (m)	推進管 (本) 先頭・標準管・最終管	φ 150 (箇所)		φ 200 (箇所)	φ 150 (箇所)	φ 200 (箇所)		
No. 101	11.465	15.43	組立1号マンホール	到達	1.5						0.300		1		1	
～No. 104	11.558	11.45	組立1号マンホール	発進	2.0	31.00	29.25	1.0m管	30		0.550				1	
No. 104	11.578	11.45											0.550		1	
～No. 105	11.713	13.12	組立1号マンホール	到達	1.5	45.00	43.25	1.0m管	44		0.300				1	
No.																
～No.																
No.																
～No.																
No.																
～No.																
No.																
～No.																
No.																
～No.																
No.																
～No.																
計						76.00	72.50				1.700		2		4	



1本当り注入量・1本当り施工時間

[illegible]

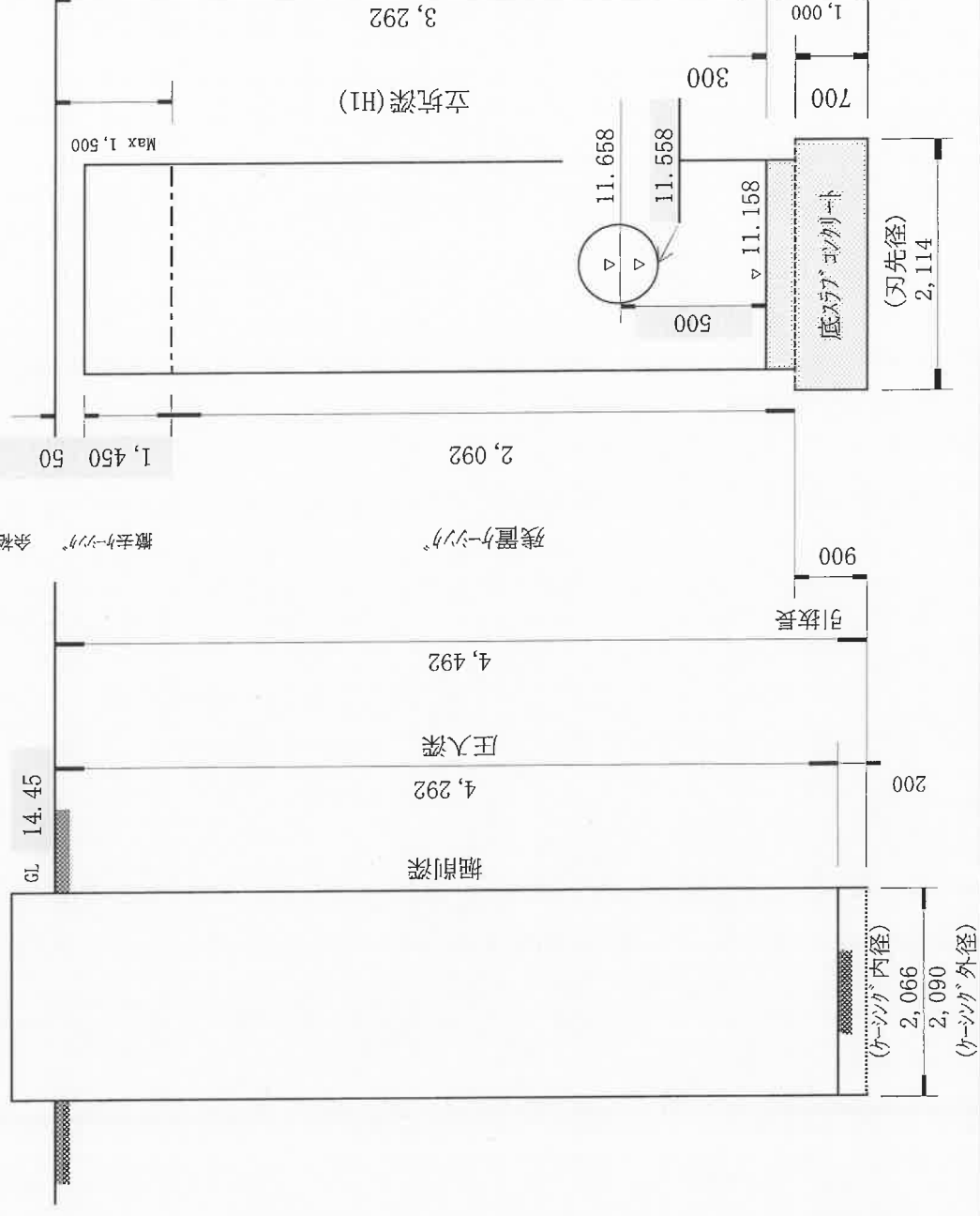
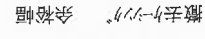
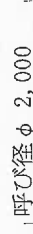
## No. 104

ケーシング呼び径 2,000

本管径	$\phi$	200
-----	--------	-----

設置完了・埋戻し時

压入掘削完了時



呼び径	2, 000
ケーシング <sup>*</sup> 厚 (mm)	12
ケーシング <sup>*</sup> 外径 (mm)	2, 090
ケーシング <sup>*</sup> 内径 (mm)	2, 066
刃先径 (mm)	2, 114
周長 (mm)	6, 528
単位重量 (kg/m <sup>2</sup> )	94. 20
m 当り 重量 (kg/m)	614. 9
m 当り 掘削土量 (m <sup>3</sup> )	3. 51
底スラブ <sup>*</sup> コンクリート (m <sup>3</sup> )	3. 10
標準スライム量 (m <sup>3</sup> )	1. 20
刃先重量 (kg/個)	63. 00

事業名	見附市公共下水道事業		
工事箇所	見附市 地内		
工事名			
図面番号		全枚数	
揺動式土留立坑構造図	縮尺		
設計	調査	縮小	字

新潟県見附市

揺動式圧入立坑土留構造図 No. 105

ケーシング呼び径 1,500

本管径 φ 200

設置完了・埋戻し時

圧入掘削完了時

呼び径 φ 1,500

撤去ケーシング 余裕量

GL 13.12

1,450 50

掘削深

2,707

圧入深

2,907

残置ケーシング

507

立坑深(H1)

1,707

Max 1,500

▽ 11.813

▽ 11.713

400

底スラブコンクリート

(刃先径)

1,614

引抜長

900

(ケーシング内径)

1,566

1,590

(ケーシング外径)

寸法・数量

呼び径	1,500
ケーシング厚(mm)	12
ケーシング外径(mm)	1,590
ケーシング内径(mm)	1,566
刃先径(mm)	1,614
周長(mm)	4,957
単位重量(kg/m <sup>2</sup> )	94.20
m当り重量(kg/m)	466.9
m当り掘削土量(m <sup>3</sup> )	2.05
底スラブコンクリート(m <sup>3</sup> )	1.80
標準スライム量(m <sup>3</sup> )	0.70
刃先重量(kg/個)	48.00

事業名	見附市公共下水道事業		
工事箇所	見附市	地内	
工事名			
図面番号		全枚数	
揺動式土留立坑構造図			
設計	調査	縮尺	
監理		備考	
新潟県見附市			

## No. 104 鋼製ケーシング式立坑土工

掘削

辰埋

鋼製ケーシング呼び径  $\phi$  2,000 1 号マンホール[illegible]

- |                      |      |   |       |   |       |                                    |
|----------------------|------|---|-------|---|-------|------------------------------------|
| 1. 掘削 (m 当り掘削土量 × H) | 3.51 | × | 4.242 | = | 14.89 |                                    |
|                      |      |   |       |   |       | 1. 埋戻 (ケーシング面積 × 埋戻高 - 控除)         |
|                      |      |   |       |   |       | (改良土) 3.142 × 2.005 - 1.736 = 4.56 |
|                      |      |   |       |   |       | 2. 管周り (ケーシング面積 × 管周り高 - 控除)       |
|                      |      |   |       |   |       | (改良土) 3.142 × 0.514 - 0.480 = 1.13 |
| 2. 底スラコンクリート         |      |   | 3.10  | = |       | 3. 管下 (ケーシング面積 × 基礎厚 - 控除)         |
|                      |      |   |       |   |       | (改良土) 3.142 × 0.403 - 0.349 = 0.92 |

## 掘削

$$GL = 13.12$$

マンホール控除			
1. $\pi/4 \times d^2 \times \text{埋高}$	$0.866 \times 0.530 =$		0.459
2. $\pi/4 \times d^2 \times \text{管周り高}$			
3. $\pi/4 \times d^2 \times \text{管下高}$	$0.866 \times 0.514 =$		0.445
空伏せ長さ	$0.866 \times 0.393 =$		0.340
	$0.23 + 0.00 =$		0.23
管控除			
$\pi/4 \times D^2 \times \text{空伏せ長さ}$	$\text{管外径} =$		0.216
	$0.037 \times 0.23 =$		0.008

1. 掘削 (m当り掘削土量×H)	2.05	×	2.757	=	5.65	
						1. 埋戻 (ケーシング面積×埋戻高－控除) (改良土) 1.767 × 0.530 - 0.459 = 0.48
						2. 管周り (ケーシング面積×管周り高－控除)
2. 底スラブコンクリート			1.80	=		3. 管下 (ケーシング面積×基礎厚－控除) (改良土) 1.767 × 0.514 - 0.453 = 0.46
						(改良土) 1.767 × 0.393 - 0.340 = 0.35